



▲とよたかずひこさんのおはなし会

飯館村が選んだこの1冊『手紙』親愛なる子供たちへ』感想文コンテスト
審査結果 (敬称略)
【最優秀賞】
 ▼木戸フミ (福島市)
【優秀賞】 ▼石幡悦子 (福島市) ▼佐藤和奏 (上飯樋) ▼友田美代子 (草野)



15周年 これまでも これからも ほんの森いたて記念イベント開催!

12/12

第12回メッセージコンテスト表彰式
 15周年記念事業「手紙」感想文コンテスト表彰式、公開シンポジウム、おはなし会



▲菅野村長から表彰を受ける木戸フミさん

「ほんの森いたて」が平成22年2月26日にオープン15周年を迎えることから、同店で記念イベントが開かれました。
 記念イベントでは、メッセージコンテスト表彰式に続き、15周年記念の「飯館村が選んだこの1冊『手紙』親愛なる子供たちへ』」感想文コンテスト」の表彰式が行われ、最優秀賞を受賞した木戸フミさん(福島市)ら19人に賞状と記念品が贈られました。
 木戸さんは「手紙の詩は、年老いた自分を隠すことな

今月のコミック

4日	PSYREN-サイレン-	9巻
	NARUTO	49巻
	銀魂	32巻
	バクマン。	6巻
	新テニスの王子様	2巻
8日	元祖!浦安鉄筋家族	25巻
	ドロップ	9巻
13日	君に届け	10巻
15日	ダイヤのA	19巻
22日	バガボンド	32巻

【佳作】 ▼松下景子(草野)
 ▼宮坂真由美(飯樋) ▼佐藤順子(上飯樋) ▼大久保征美(栃木・大田原) ▼長谷川文(伊達市) ▼根本守道(いわき市) ▼漆山愛(福島市) ▼小野寺香織(福島市) ▼阿部静香(福島市) ▼加藤幸枝(福島市) ▼相笠睦美(福島市) ▼佐藤春美(いわき市) ▼菅野恵梨(本宮市) ▼高橋知子(草野) ▼熊坂律子(伊達市)
 ※感想文コンテストの入賞作品は、今後広報で紹介します。

第12回 読書メッセージコンテスト入賞者発表!

応募総数605点より20人の入賞者を決定しました。各受賞者のメッセージは今後紹介していきます。審査結果は次のとおりです。(敬称略)



▲最優秀賞を受賞した菅野一樹さん

みなさんは、靈感が強いですか。もし自分が、靈感が強い人にはこの本が、おすすめですよ。また、靈感が弱い人でも読めます。ただ、これを読むと、夜ねむれなくなるかも知れません。



著者…みおちづる
 出版社…岩崎書店

飯館村長賞 (最優秀賞)
 菅野一樹 (飯樋小5年)
「龍のめざめ 靈感一家!」

- ▼大島一樹 (草野小3年)
- ▼かんのりゆうせい (飯樋小2年)
- ▼高橋和加奈 (飯館中3年)
- ▼菅野絵理 (飯館校3年)
- ▼伏見市子 (一般)
- ▼飯館村振興公社 理事長賞 (優秀賞)
- ▼相良夏美 (飯館校3年)
- ▼飯館村教育長賞 (優秀賞)
- ▼わかばやしゆうか (白石小2年)
- ▼村小中学校長会長賞 (優秀賞)
- ▼佐々木成美 (飯館中2年)
- ▼飯館村公民館長賞 (優秀賞)
- ▼友田美代子 (一般)
- ▼JPIC賞 (佳作)
- ▼佐藤彩華 (飯館校3年生)
- ▼小山翔人 (草野小2年)
- ▼木幡柊平 (草野小4年)
- ▼高橋璃奈 (飯樋小3年)
- ▼佐藤玲奈 (飯樋小3年)
- ▼ほんの森賞 (佳作)
- ▼佐藤ちさき (草野小6年)
- ▼岡部祐真 (飯樋小3年)
- ▼手渡滉治 (飯館中2年)
- ▼赤石澤歩 (飯館中1年)
- ▼嘉藤真菜華 (白石小4年)

※CD・DVDのお取り寄せできます。
 ※写真現像サービスを承っています。ご利用の方にはポイントカードを発行しています。フィルム1本につき1ポイント加算します。10ポイントたまると500円分の図書カードと交換しています。ぜひ、ご利用ください。

く伝える母の祈りにも似た優しさがある」と感想文を通して、母への想いを伝えました。
 感想文コンテストには、村内外や栃木県からなど、計94通、11歳から79歳までの方から応募がありました。
 また、公開シンポジウムでは、絵本作家のとよたかずひこさん、出版文化産業振興財団(JPIC)の肥田美代子理事長、宇野君代JPIC読書アドバイザークラブ福島県代表、菅野村長の4人が「読書習慣を身につけよう」と題してパネルディスカッションを行いました。
 その後、絵本作家のとよたかずひこさんのおはなし会が行われ、とよたさんの代表作のひとつ「どんどこもんちゃん」などの読み聞かせが行われました。
 会場の子どもたちは、身乗りだして絵本の世界に引き込まれていました。



子どもの発達年齢や状況に合った本を選んでほしい
 (宇野さん)

公開シンポジウム

「読書習慣を身につけよう」



家庭で読まれなくなった絵本をリサイクルすることも考えている
 (菅野村長)



学校に読み聞かせに呼ばれるが、本をよく読む学校は雰囲気が良い(とよたさん)



22年は「国民読書年」でもある。本に触れる機会を増やしてほしい(肥田さん)